

## 2017年度 センター試験 世界史B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問1	オーソドックスな正誤判定問題だが、“カタリ派に対し、アルビジョワ十字軍”という表現が珍しいので要注意。アルビジョワ派(アルビ派)はカタリ派の南フランスでの呼称なので正文である。内容がきちんと押さえられていれば、間違えることはないだろう。なお①については、前3世紀～後3世紀の漢の時代に、そもそもネストリウス派自体が生まれていないので誤文である。
	問4	全インド＝ムスリム連盟の結成は1906年だが、年号の知識で解くよりも、事項の流れから考える方が確実である。ベンガル分割令→国民会議派の反英化(カルカッタ大会)→イギリスが分割統治の中でイスラーム教徒優遇に転換(全インド＝ムスリム連盟結成)、という展開を想起しよう。
	問7	アフガニスタン侵攻(1979)は、その泥沼化により末期のソ連の経済を破綻させた重要な事件なので、関連事項もしっかり押さえておきたい。まず実行はブレジネフ書記長→この影響で第2次戦略兵器制限交渉(SALT-II)の批准をアメリカ議会が拒否(1979)。その後、ゴルバチョフ書記長の決定で撤退(1988～89)→マルタ宣言による冷戦の終結(1989)、という流れを理解しておこう。
	問8	これは覚えている知識を使うのではなく、素直にグラフを読み取らせる問題と思った方がよい。まず、ドイツの銑鉄生産量は第一次世界大戦以前の1906年にイギリスの生産量を上回っているので、aは誤文である。次に、ソ連は第2次五ヵ年計画(1933～37)の時期に、たしかに生産量が大きく伸びているので、bは正文。なお、第2次五ヵ年計画の年代はやや細かいが、グラフ上でロシアの生産量は1920年代後半から一貫して伸びているため、間違えようがない。
	問9	チェチェン紛争の勃発は1994年だが、細かい年号の知識よりも流れで考えるとよい。チェチェン紛争はソ連の解体後の事件であるから、dしかありえない。詳しく事情を述べると、ソ連の解体(1991)→ロシア連邦の大統領にエリツィンが就任(1991)。以後、急激な自由化でロシア経済の破綻と混乱→石油・天然ガスの輸出に依存→パイプラインの要衝であるチェチェンの独立を認めずロシア軍が介入開始(1994)、となる。
第2問	問1	ミドハト憲法はオスマン帝国(トルコ)の憲法なので、④が誤文である。なお、①では日本国憲法の主権在民について述べているが、これは受験生ならば常識レベルの内容と思ってもらいたい。
	問6	下線部⑥の中で“故国”とあることに注意しよう。つまりロシアでの事件ということなので、キール軍港の水兵反乱(ドイツ)について述べた②が誤文である。内容自体は全文とも正しいので、ヒントを見落として迷ったりしないように。
	問9	李登輝は総統選出を国民の直接選挙とするなど、台湾の民主化を一気に進めた総統として重要である。細かい知識と思わず、しっかり押さえておこう。また、彼が本省人初の総統だったことも重要ポイントである。なお、チャウシェスクはルーマニアの指導者だったので①は誤文。韓国の朴正熙は開発独裁型の大統領だったので②も誤文。九・三〇事件はインドネシアでスハルト政権誕生の契機となった事件なので③も誤文。
第3問	問2	治安維持法(1925)は、社会主義勢力の取り締まり強化を目的とした日本の法律であり、普通選挙制導入と同時に定められたものであるが、近年では世界史でも出題例が増えているので注意しよう。なお、朱全忠は唐を滅ぼし後梁を建てた武将なので①は誤文。焚書・坑儒をおこなったのは秦の始皇帝なので②も誤文。カトリック教徒解放法はイギリスの法なので④も誤文である。
	問3	スタンリーについては、リヴィングストンの救出だけでなく、コンゴ川流域の探検をベルギー国王レオポルド2世の依頼でおこなったことも押さえておこう。また、極地探検については、世界初の南極点到達(1911)＝アムンゼンとともに、世界初の北極点到達(1909)＝ピアリという事項も言えるようにしておこう。

第4問	問5	<p>米州機構(OAS)については、合衆国がトルーマン大統領の時代に結成(1948)された反共協力組織であるというポイントも忘れないようにしたい。なお、契丹(キタイ)と燕雲十六州を巡って争ったのは、後晋以降の五代の諸王朝と北宋なので①は誤文。ネーデルラントの北部はスペインからの独立を宣言したので②も誤文。エフタルの侵入で衰えたのはグプタ朝なので④も誤文。</p>
	問5	<p>マタラム王国(16世紀後半～1755)はイスラーム国家なので、“インド文化の影響”というヒントだけでもチャンパーを選ぶことは可能。また“2世紀に成立”というヒントからも、チャンパーだと特定できるはず。</p>
	問7	<p>a・b・cの各文について、大まかに年代を推測すれば平易な問題である。まずスエズ運河開通(1869)は、19世紀後半のことだとわかればよい。TVAの設立は、ニューディールの一環なので1930年代だと特定できる。また、ナセルは第二次世界大戦後のエジプト大統領なので、これらを比較するだけで容易に①を選べる。</p>
	問9	<p>リンネについては、できれば“植物の有性生殖を発見”という業績も押さえておきたい。またゲーテについては、疾風怒濤(シュトゥルム＝ウント＝ドランク)の時期の代表作＝『若きウェルテルの悩み』・ドイツ古典主義文学の時期の代表作＝『ファウスト』、と区別できるようにしておこう。</p>